

第42号 2007.2.26

高知県立幡多けいみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3-1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

病気ひとくちメモ

心臓ペースメーカーとは

循環器科 山中伸悟



心臓ペースメーカーという言葉の時々耳にされると思いますが、どういうものかをお話したいと思います。心臓は洞結節という所から電気刺激が発生してそれが心臓全体に伝わり、心臓の筋肉が収縮して全身に血液を送っています。例えば、洞結節から1分間に60回の刺激が発生すると、心臓が60回収縮し、その拍動が血管に伝わって脈拍数が60となるわけです。即ち、洞結節は人間本来が持っているペースメーカーなのです。その洞結節からの刺激の発生が何らかの原因で少なくなったり、刺激の伝導路が機能的に断線したりすると脈拍数が少なくなり（これを徐脈といいます）、息切れや

めまい、ひどい時には失神といった症状が出ます。その原因が心筋梗塞や甲状腺疾患、電解質異常、薬剤によるものであれば、それらの疾患の治療や薬剤の中止により改善しますが、そうでない場合はペースメーカーという機械によって脈を補う治療を行います。

ペースメーカーには一時的に体内に挿入するものと、永久に植え込む恒久的ペースメーカーとがあります。前者は、前記のように徐脈が改善する見込みがある場合や、植え込みまでのつなぎとして使用します。首や足の付け根の静脈からリードと呼ばれる電線を心臓まで挿入し、体外の電池から電気刺激を送ります。必要がなくなれば簡単に抜去できます。

しかし、徐脈の改善の見込みがない洞不全症候群、房室ブロックといった疾患では恒久的ペースメーカーの植え込み手術が必要になります。手術は主に左の胸部を局所麻酔して、リードの挿入と皮下への電池の植え込みを行います。手術時間は1ないし2時間程度です。電池には寿

命があり、大体5ないし10年程度で、年に1、2回外来で点検をして電圧が減ってくれば、電池のみの交換手術を行います（手術時間30分程度）。植え込みによってMRIの検査が受けられなくなりますが、日常生活では特に大きな制約はなく、脈拍数の改善によって徐脈に伴う症状は改善し、通常の日常生活を送る事ができます。

また、最近では不整脈による突然死を予防するための植え込み型除細動器や、心不全治療のための両心室ペースメーカーといった特殊なペースメーカーもあり、ペースメーカーによる治療は徐脈の治療以外に多岐にわたってきています。



部署だより

早期リハビリテーションセンター

リハビリテーション室

リハビリテーションは、私たち理学療法士が様々な職種と一人の患者様に対して多面的に関わる分野とされています。

今までのリハビリでは、訓練室に患者様に集まってもらい、その日の訓練を行い、病室に戻るといったものでした。しかし、それでは他の職種との情報交換も十分に取れません。実際、患者様が日常の大半を過ごすのは病室です。最近、その病室で実際にやっている「している日常生活動作」と訓練室で行う「できる日常生活動作」とがかけ離れていることが分かってきました。

そのため、リハビリが始まったときは、特に病棟で訓練を行い、他の職種と情報を交換すること



従来は訓練室でのリハビリが中心でした

で患者様の状態を把握することができるようになり、より日常生活に沿った動作の獲得ができるようになってきました。

また、以前は骨折や脳卒中の患者様は、ベッドで安静にしていれば良くなるとされていました。しかし、患者様の高齢化が進む今日では、ベッドに寝ているだけで体力の低下が起こりやすく、寝たきりになってしまう場合や機能の改善が遅れるということが分かってきました。そのため、私たち理学療法士は、医師の許可を得た後には速やかに車椅子に乗ることや、歩くことで患者様の体力の低下をできるだけ抑えるように努めています。

す。

現在、私たちは、西7階病棟で行われている糖尿病パスやNST（栄養サポートチーム）に参加し、運動療法について指導しています。

今後、他の職種と今まで以上に連携し合うことで患者様により良いリハビリを行えるようにしていきたいと考えております。



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者様へのサービスの向上を目的として活動しています。

1月は合計16件のご意見をお寄せいただきました。今回は、会計の待ち時間に関するご意見がありましたので、当院の会計業務についてご紹介いたします。

当院の会計業務について

当院の会計業務は、①仕分け業務②収納業務という流れに沿って行われており、仕

ご意見の集計

分類	回収月	4-1月
	1月	合計
待遇について	6	45
施設、療養生活について	4	29
事務手続きについて	3	24
病院運営、経営について	0	15
感謝、お褒め	1	13
待ち時間について	2	13
その他	0	3
合計	16	142

分け業務を行う仕分け係と、収納業務を行う収納係とに役割分担をして円滑に業務が進められるような体制を採っています。

仕分け係の業務内容

仕分け係の業務は、まず、診察を終えられた患者様より、外来総括表を会計窓口にて受け取る場所から始まります。そして、保険の種類などを確認し、支払いの有無により、総括表を分類します。支払いのある患者

様、また、支払いのない患者様で薬が出ている患者様には、発行した番号札をお渡し、控えの番号札を総括表に付けてコンピュータ入力係に渡します。また、未収伝票がある場合には、保管されている未収伝票を用意します。さらに、預り金をお預かりしている患者様が預り表を提出された場合、預り金を金庫から出し、収納係に渡す準備をします。

次に、コンピュータ入力作業により出力された伝票の処理をします。伝票の不要部分を切り離し、伝票を待ち番号札順に並べて収納業務がスムーズに行われるようにしています。

以上のような仕分け業務は午前中は2人、午後は1人体制で行っています。

収納係の業務内容

仕分け係から受け取った伝票に記載されている待ち番号を、会計窓口上の電光掲示板（プラズマディスプレイ）に表示します。そして、患者様から診療費をお支払いいただき、レジを打って金銭の取り扱いを行います。



薬のある患者様には、領収書と一緒に薬の番号札をお渡しします。

レジは合計3台あり、午前中の特に混雑する時間帯には収納業務は3人体制で行っています。

仕分け係の業務内容は多岐にわたりますが、時折、何もせず立ったままに見えるスタッフを目にし、もっと効率的に作業できるのでは？と思われることがあるかもしれません。ですが、患者様が来られた場合にすぐ対応できるように、ロビーに目を配ったり、カウンター内のスタッフのフォローができるように控えているので、重要な役割を果

たす存在として、必要不可欠なスタッフなのです。上記のとおり、円滑な会計業務の遂行のための役割分担ですので、ご理解をいただきたいと思えます。

また、通常、番号札の順番通りに会計業務を行っておりますが、診療内容の確認が必要などが、診療内容の確認が必要などが、まれに後の患者様から会計処理をさせていただく場合があります。そのような場合には、処理が遅れる旨の説明を個別にさせていただきます。

午前中などの混雑時にはお待たせすることもあるかと思えますが、今後も迅速な対応を目指していきたいと思えますので、ご理解をよろしく願います。



からだにやさしい食生活

まいばやさしい

栄養科



どれだけ食の欧米化が進んでも、私達日本人の腸の長さや消化能力が欧米化することは難しいでしょう。日本人の身体に優しい食事とは昔から日本人が食べてきたものだといわれます。これらの健康食材を「まいばやさしい」という言葉で覚えましょう。

まい豆、ごいごま、はいわかめ（海藻類）、やい野菜、さい魚、しいしいたけ（きのこ類）、いいも（芋類）

どれも日本人に馴染みの深い食べ物ですが、現代の食生活では不足しやすい食材といえます。一人暮らしや不規則な生活リズム、レトルト食品や嗜好食品は、もはや現代の食生活では欠かせないものになっています。外食のときや食材を買うとき

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

にほんの少し考えるか考えないかで未来が大きく変わるかもしれません。今日は魚をメインに野菜のおかずを添えてみませんか？その一口があなたの体を元気にしてくれるでしょう。



クリニカルパス大会

第7回幡多けんみん病院クリニカルパス大会を2月20日に開催しました。

クリニカルパスとは入院治療の日程表のようなもので、疾病ごとに作成しており、院内各部署の業務が横断的に組み込まれています。医療の標準化や効率化、患者さんの医療への参加などを目的としています。今回のクリニカルパス大会で

は、「急性心筋梗塞パス」、「慢性硬膜下血腫パス」、「大腿骨頸部骨折地域連携パスの状況報告」について発表がありました。

参加者は71名で、そのうちの医療機関から22名の方々に参加いただきました。

3月研修予定

病院職員向け

1日（木）	Q A発表会
5日（月）	プリセプターフォロー研修
8日（木）	N S T勉強会
13日（火）	院内合同発表会
20日（火）	幡多整形外科研修会
22日（木）	プリセプター養成研修
26日（月）	M Cカンファレンス



1月の統計

外来患者数	14,604人
新外来患者数	2,537人
紹介患者数	382人
新入院患者数	550人
退院患者数	456人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1751人
手術件数	196件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。